

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷 足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

新年を迎えて

理事長 岸本美恵子



辰年を迎え、新年の活動がスタートいたしました。

昨年の3・11以来、当たり前であったことの大切さ、本当の幸せってどうゆうことか…。皆が色々な形で繋がっていることを再認識したように思います。本年も継続して復興支援に向けて模索してまいります。

私ごとになりますが、新年早々に四ツ谷駅で下車して、上智大学と丸の内線の間の、江戸城の堀の名残を留める土手を歩く機会がありました。この場所は、私が20代の時に勤めていた銀行の転勤で、故郷の北海道から東京に来て、初めて先輩の女性が案内してくれた所です。あの時も、運動をしている大学生の元気な声が聞こえていたが、夕暮れがかった空を見ながら、これからの東京での生活を思い、不安と期待で胸が一杯だったことを思い起こしました。あれから40数年、生まれ育った北の地の倍の生活が積み上げられました。

さて、障がい福祉施策は様々な変革を経て、平成25年8月の障害者総合福祉法（仮称）制定に向けて、昨年夏、障害者制度改革推進会議総合福祉部会で骨格提言がまとめられました。障がいがある人もない人も、人として尊重され、多くの人の理解と共感を得ながら、共に支え合い、生きていくことができる社会になることを願っています。

当法人といたしましても、「中期経営計画」（平成23～27年度）を策定し、①福祉サービスの向上 ②事業ごとの特化したサービス ③法人経営の改革 ④利用者と職員が、満足と共有できる理念・ビジョン ⑤職員一人一人の意欲を高めて、利用者サービスに反映させる研修の徹底等の仕組み作りなどを計画の骨子としています。このような計画が「机上の…」にならないよう、職員と共に着実な歩みを進めていく所存です。

旧年にも増して、皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

新年のご挨拶

後援会会長 秋山啓司



あけましておめでとうございます
 昨年は、3月11日に巨大地震が発生し大災害の年になってしまいました。本年は平穏な1年でありますよう、心からご祈念致します。

昨年10月中旬、大震災の爪痕がまだ生々しい、岩手県大槌町へ10名で行きボランティア活動をして参りました。人口約1万5千人の内、約500人が亡くなられ、建物もほぼ跡形もなく消え去っていました。丘の上のお寺と体育館に避難した人々は、飢えと寒さに苦しみました。子供たちは、体育館のカーテンを切り取って身にまとい寒さをしのいだといいます。隣町から燃料や食料が届いた時は、涙を流した人も多かったそうです。震災後、殆どの人が、暮らし方は勿論、ものの考え方が変わり、家族友人との絆、地域社会との連帯感、そして、他人をいたわり思う心が今迄以上に強くなったそうです。

ある新聞の社説に心に響く記事が載っていました。後にハワイ州の知事をつとめたアリヨシ氏が、昭和20年に廃墟と化した終戦後の東京に来て、少年に靴磨きをしてもらった。心をこめて一生懸命やるので感心し、バターとジャムを塗ったパンを少年にあげた。腹ぺこだからその場がかぶりつくかと思ったら、7歳の少年はそのまま風呂敷にしまった。「なぜ食べないの？」と聞くと、「家に3歳の妹が待っているから」と答えた。わんぱく盛りの男の子が、ひもじさを我慢して妹のためにパンを持ち帰ろうとする。この瞬間アリヨシ氏は、「物としての日本は壊れたが、日本人の心は失われていない。必ずや日本民族はよみがえる」と確信したという。今回の大地震で少年の心を被災地の人々にみたと思います。

本年も、皆様の倍旧のご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

足立あかしあ園だより

新年明けましておめでとうございませす。

平成24年もスタートしましたね。芯まで冷えそうな寒さでも、新年からパワー全開で元気に、楽しく活動して笑顔がいっぱい、いっぱいです!!

足立あかしあ園では、昨年末に年末恒例の利用者企画によるクリスマス忘年会が楽しく行われました。お世話になったボランティアさんもお呼びしてにぎやかにスタート。厨房の第一食品のスタッフの皆さんがみんなには内緒のメニューで、おいしいランチを演出。みんなは朝から「メニューはなんだろう?」とワクワクでした!!かぼちゃのサラダにパスタやグラタン、パンダグループさんから頂いたクリスマスケーキなど、クリスマスらしいメニューでおなかもいっぱいになって、みんな満足の笑顔でした。

食後のお楽しみは、太鼓や獅子舞の出し物を披露していただく「でん舎」と



いう団体の「でんさん」に驚きの芸と楽しい笑いのひと時を演出していただきました。前に出て和太鼓にチャレンジしたり、南京玉簾には身を乗り出して、アンコールの声まで上がっていました。

足立あかしあ園の建物も年末から続く工事（お化粧直し）が1月末には終了し、皆様をお迎えできると思えます。笑顔いっぱい、素晴らしい一年となるように頑張っていきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願い致します。(塩田)

綾瀬あかしあ園だより

厳しい寒さが続いています。

皆様、体調など崩していませんか? 気がつけばあつという間に1年が過ぎて平成24年に突入・・・です。平成24年度は、綾瀬あかしあ園にとっても新たなスタートとなります。4グループ体制、サークルの外部プロ化でのスタートがメインとなります。形は変わって、バタバタとして

毎日に流されず、一つひとつの支援の柱を皆で確かめ合いながら、新グループ体制にして良かったと利用者さん、職員が思えるようなものを



作っていきます。

平成23年の締め行事として「黄桃歌合戦」を開催しました。非常勤職員による歌あり踊りありの

迫力満点のステージ（例えば、AKB 48、光GENJI、S.M.A.P等）。利用者さんによる白熱した応援合戦と、とても盛り上がり1

年を締めるにふさわしいイベントとなりました。利用者さん

達のキラキラした表情が何より1番の名場面でした。本年も「みんな、ほつと、いっしょに、いきいきと」宜しくお願いします。(森)

竹の塚あかしあの杜きずな（生活介護入所）だより

新年あけましておめでとうございませす。

竹の塚あかしあの杜きずなでは、アウトドア班が10月、行楽地班が11月の大外出が無事に行われました。アウトドア班は、清水公園へ行きました。魚釣り、ポニーの観賞、昼食はバーベキューでした!魚釣りでは、釣った魚をその場で焼いていただきました。行楽



地班は、東武動物公園に行きました。現地では、グループに分かれての行動でした。色々な動物を見て回り、ふれあい広場で動物とふれ合う方々もいました。

どちらの大外出の利用者の皆さんも、とても良い表情をされていました。帰ってくると、大外出の話は尽きず、もう行かれてしまった皆さんは羨ましそうに、これから行かれる皆さんは、わくわくしている様子がうかがえました。

きずな大外出の最後の班となるイベント班は、12月15日に浅草へ寄席を見に行かれます。浅草到着後に昼食を食べた後、寄席を観覧し浅草を散策後に帰園される予定となっております。昼食はバイキングとのこと、

「何を食べようか?」「何があるかな?」「何があるかな?」と楽しみにされています。

今後のきずなでは、12月にクリスマス会、1月には新年会が行われます。今年の新年会は、グループ対抗仮装大会です!早いグループでは11月から準備を始めています。どんな



仮装が見られるか今から楽しみです。

(杉山)

竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

のぞみでは、11月25日に各グループでレクリエーションを行いました。

作業グループでは、みんなが大好きな「風船バレー」を行いました。3チームに分かれてチーム対抗で行い、優勝チームには賞状とクリスマスツリーの形をした優勝メダルをプレゼントしました。風船が割れてしまうかの勢いで白熱した試合になりました。

創作グループでは、

「秋の大運動会」という題名で、パン食い競争や借り物競争を行いました。パン食いや競争では、皆さん頑張った口をあけてしゃかりとパンをつかんでいました。借り物競争では、前もって職員が色々な場所から写真を撮ってきた物を箱に入れてくじ引きのように利用者さんが引いて探していくというものでした。なかなか分かりづらい場所にある物や職員



が身に付けている物は、探すのに苦労をしていたようでした。

新年を迎え、1月10日に「成人の祝い」を行いました。今回は1名の方です。12月中旬から少しずつ用意をし、素敵な成人の祝いになることを楽しみにしていました。

(和田)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

大谷田就労支援センターに、パソコン事業室があります。パソコンを活用することで身体上の障がいや仕事の障がいにならない、どんなに障がいがある等でも付加価値の高い作業が可能になる等の想いから、積極的にIT関連の設備を整えてきました。

パソコン事業室の作業内容は、名刺・はがき・広報紙・パンフレットなどの印刷や、ホームページの作成・メンテナンス、電光掲示板用のデータ作成、物流管理の入力などを行っています。ご覧いただいているこの広報紙は、利用者の方お2人が担当されていて、法人内各事業所からの文章や写真データを加工しながら、指定された誌面に見栄え良く納まるようにデザインしています。

この間、作業を正確に、そして効率良く進めるための独自のプログラムを開発し、誰が作業しても同じ結果が得られるような工夫もしてきています。

例えば、ページの面付けを自動的に行うプログラムや、宛名印刷の名前や住所が長い場合に、自動的に文字に長体をかけた文字サイズを変更してレイアウトを行うプログラムなどを開発してきました。

ハード面では、指先の震動などによる誤タッチを防止するためのキーボードガードや、スティックやトラックボール、口で操作するためのリモコン、爪先の感覚で操作可能なパッドなどの自助具が活躍しています。そして今、タブレットなどのタブレット端末を検討しています。

利用者の皆さんが営業先でタブレットを操作して、大谷田就労支援センターの業務のご案内や見積金額の提示、自分たちの働いている姿を紹介することなどができたらと思っています。事業所の案内パンフレットの該当箇所をタッチすると、商品見本のご紹介や自分たちの作業風景を動画でご覧になつていただくこともできます。また、発語が難しい方も何人かいらつしやいます。そのような方にとっても便利なツールになるのではないかと期待しています。

利用者の方が外出された時に、道に迷ったまま連絡が取れなくなってしまう



たことがありました。が、外出先で電車の乗り換え経路を調べたり、目標とするお客様の所在地までのナビゲーションになったりもします。ご発注をいただいた場合には、その場で用紙や印刷の色まで確認することも可能になります。

また、これを機に、自治会の回覧など地域単位で住民向けに情報を配信したり、あるいはマンションなどの集合住宅で住民向け情報を配信したりといった、地域に密着した新しいサービスの可能性も広がればと思案しています。

基本的な操作の研修や、手の震動などによる誤操作への対応などが必要となつてきますが、慣れるより慣れろと言いますし、何台か設備し楽しい挑戦を始めていきたいと思います。

(萩原)

神明福祉園だより

去る11月13日(日)にイーストウェーブフェスティバルが無事に開催されました。

今年は「つなげよう!小さなチカラを大きなチカラに」というテーマ



で、復興支援「らっしやい！らっしやい！神明で東北を買いおう市場」を企画し、東北各地の福祉施設等の商品を販売したり、被災状況や施設の様子を紹介しました。福島県南相馬市から、NPO法人「あさがお」さんが来て下さり、利用者が育てた「あおばた豆」を使ったお豆腐を対面販売して下さり、交流が深まりました。東京綾瀬ライオンズクラブの皆さんも岩手のラ・フランスを販売して盛り上げて下さいました。模擬店のメニューも東北名物になり、「仙台油麩井」「盛岡じゃじゃ麺」は、どちらもおいしいと大好評でした。

利用者発表も東北に届け！と、笑顔いっぱいの内容になっており、見に来



て下さった方達と、元気を分かち合いました。

震災の為、一部自粛をして開催してお祭りでしたが、多くの方に協力して頂き、地域へ情報を発信できた、大変意義のある施設祭でした。改めて、お礼申し上げます。この繋がりを大切にしていきます。

12月に入り、マミコーラスが来園し、ステキな歌声を聞かせて下さいました。一足早いクリスマスソングと一緒に歌い、とても盛り上がりました。

あつという間に年末になり、各班お楽しみ企画で盛り上がっています。新しい年も元氣一杯で充実した年になりますように！ (白井)

神明デイサービスセンター だより

新年明けましておめでとうございます。

昨年は未曾有の震災に見舞われ、日中が改めて「絆」という事について考えさせられる1年となりました。施設によっては、外出行事の見直しやお祭りが中止となったりする中、イーストウェーブフェスティバルは形を変えて無事開催する事ができました。

外部団体のイベントは中止となりましたが、音楽・フラダンスの発表に加え、今回は気功講習会もホールイベントの仲間入りをしました。天候にも恵

まれ、たくさんのお客様に来ていただき、アンコールの歓声の中、利用者さんの晴れ晴れとした笑顔をたくさん見る事ができました。

また、小さな試みとして、東北支援の足しになればと、「神明デイサービス我楽多市」も行いました。家庭からバザー用品を持ち寄り、「小さなことからコツコツと！」を合言葉に、10円、20円の小商い(笑)をさせていただきました。

収益は東北支援の為に全額寄付させていただきました。

ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。神明デイサービスでは今後も「自分たちに何ができるのか？」を

常に考えながら活動してゆきたいと思っています。

12月の障がい者作品展では陶芸・絵手紙・絵画講習会の作品を展示・発表しました。他施設の作品からアイデアを得るものも多く、今後ますます制作に熱が入



るような予感がしています。これからの予定として2月には綾瀬メトロギヤラリーでも絵画を中心とした作品を展示します。詳細をお問い合わせの上、ぜひ足をお運びいただけたらと思います。

昨年は体調の面から利用を中止される利用者さんがおられ、寂しい思いをした反面、利用を開始された方々との新たな出会いもたくさんありました。幅広い年齢層の中、ひとりひとりにあったサービスを考えながら活動を展開していきたいと思っています。

今年も神明デイサービスをよろしく願っています。 (倉成)

神明福祉作業所だより

今年も寒さが厳しい日々が続いていますね。しかし、今回の福祉作業所は、そんな寒さも吹き飛んでしまうような行事が盛り沢山でした。是非、ご紹介したいと思います。

まず、11月13日に、年に一度の「イーストウェーブフェスティバル」が開催されました。今年のテーマは、「復興支援」3月11日の東日本大震災を受け、今もなお、大変な思いをされている被災地の方々に、福



祉作業所のメンバーも一人一人が気持ちを込めてメッセージを書きました。また、当日は、ゲームコーナー、自主生産販売(革製品・コヒー販売)、自転車清掃、喫茶店、革体験といった、たくさんのお店も出店し、お祭りを盛り上げました。

続いて、12月9日には、全体外出

で「デイズニール」に行つて来ました。今回は、宿泊旅行から日帰り外出となりましたが、さすがデイズニールです!

みんな、乗り物に乗ったり、ショーを見たり、お土産を買ったりと、とっても楽しんで帰ってきました。

普段は、2グループ

それぞれで活動ですが、こういった全体で行う行事も楽しいなと改めて感じた神明福祉作業所のメンバーです。新しい年も、よろしくお願いいたします。

(神田)



グループホームオハナだより

あつという間に過ぎ去った1年、昨年は東日本大震災そして余震や原発、又は台風、大雨など自然災害の多い年でよい年とは言えませんでした。今年には世界中のみんながいつも笑って過ごせる幸せな1年になればと思つていた矢先、平成24年が幕明けた日、大きな地震があり不安を感じる年明けとなりました。

でもきつときつと素晴らしい年になると信じています。皆さんの願いが叶うことでしょう!

さてオハナではいつもと変わらず平穏な日々を送っています。みんながいつも笑顔で、にぎやかに過ごして下さっています。

これからますます寒くなるので、体調に気をつけながら今のままゆったりとのんびり過ごしていきたいと思ひます。

又最近のお出かけは、昨年の天皇誕生日にお友達のお誕生日会とクリスマス会をかねて、東京ドームヘランチバイキングを食べにきました。

品数が豊富で、支援員がテーブルいっぱい食事を持ってきて、それをみんなで食べ大満足! ゆっくりしすぎて、あと15分ですと店員さんの声で慌てて支援員が食べ始めました(笑)

周りはクリスマス一色で良い雰囲気、みんな笑顔、笑顔、笑顔!! そんな顔を見ているとあー来て良かったと思ひました。みんなが楽しんでいる間、オハナではご父兄の方々に大掃除をしてもらいました。とても綺麗になつて気持ちよくなりました。ご父兄の方々に感謝、感謝です。

年末年始が明け、みんなが帰って来たときはみんなとてもいい顔をしていました。ご家庭で正月を満喫したでしょう。

今年もみんなが笑顔になれるよう楽しく過ごしたいと思ひます。どうぞよろしく願ひします。

(永山)

あいのわ支援センターだより

新年あけましておめでとうございませう。あいのわ支援センターは、昨年12月に開設一周年を迎えました。大きな事故もなく、利用者様と職員が毎日笑顔で過ごせた1年間でした。これも皆様の協力のおかげだと思つております。今後ともよろしく願ひいたします。

さて、年末年始はご自宅に帰られ



るケアホームの利用者様も多いのですが、今年の1月1日はショートステイとケアホームの利用者様で、一緒に初もうでに出かけました。行き先は谷中からも近い亀有香取神社です。この神社はアリオ亀有の隣で車で行きやすく、本殿にはスロープもあるので、車いすでもお参りできるお勧めスポットです。この日は寒中、一般の人と一緒に20分近く並んでお参りをしました。お参りの後はサービスで配布していたお神酒をいただいたり、おみくじやお守りを買ひ、皆様それぞれ今年の厄払いをしてきました。初詣の後はアリオ亀有で食事とショッピング。初売りや福袋を買つて楽しみました。

あいのわ支援センターでは、季節を楽しみながら過ごしています。お正月は美味しいお節料理やお雑煮の提供があったり、月に1回、誕生日会やクリスマス会などをケアホームとショートステイ全体で行つております。ショートステイの利用者様で行事を楽しみに来ていただいている方もいらっしゃるようです。まだまだ寒い日が続きますが、あいのわ支援センターは熱いハートで皆様をお待ちしています。

(青木)

投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

鉢巻で 初荷をしきる 手際かな 秋山 啓司

この一句

大濤に をどり現れ 初日の出 高浜 虚子

初日の出は、実に荘厳で身も心もひきしまる思いがする。神々しい気持ちにさえる。

自然は美しく偉大であるが、地震・津波・台風のような厳しい面もある。到底人知の及ぶところではない。（秋山）

後援会だより

（平成23年11月～12月） 敬称略、順不同

◇特別会員（1口1万円）

野口 節、大川博司

◇一般会員（1口3千円～5千円）

渡邊 浩

◇寄付者

くるみ会（9月）、青井住区センター

青井五丁目供給公社自治会、都立青井高校、橋本幸子、西村文雄

佐久間庸雄、川名安之介、渡辺和彦、足立区肢体不自由児者父母の会

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

（平成23年11月～12月）

短期入所事業利用状況

利用人数	85名	内児童	12名
延べ利用日数	308泊	内児童	44泊

編集後記

あらたまの年も穏やかな三が日が過ぎ、法人内通所施設も5日から元氣な利用者の笑顔がみられました。そして翌6日からは、綾瀬あかしあ園・竹の塚のぞみ・足立あかしあ園と各所で成人をお祝いする会が開かれました。今年は、全体で5名の方々がめでたく成人を迎えられました。それぞれのご家族にとつて、これまでの道のりは平坦ではなかったと…。小さな命を守ってきたご家族・周りの方々にとつて、特別の日であり想いのおふれる日であろうと思います。あたたかい涙が溢れる感動のお祝いの会でした。本当におめでとうございました。これからの道のりも長く、また違った課題も出てくると思いますが、大きく輪（和）を広げ一緒に歩んでいきましょう。

書店で、ほっこりした笑顔に惹かれて手に取った詩集、明治44年お生まれの柴田トヨさんの詩をご紹介します。

「さびしくなったら」

さびしくなったら時 戸の隙間から 入る陽射しを

手にすくって 何度も顔に あててみるの

そのぬくもりは 母のぬくもり

おっかさん がんばるからね

呟きながら 私は立ち上がる



●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで